

2026年5月27日

各 位

会社名 パンチ工業株式会社
住 所 東京都品川区南大井六丁目22番7号
代表者名 代表取締役 社長執行役員 CEO 森久保 哲司
(コード番号: 6165 東証スタンダード)
問合わせ先 コーポレート・コミュニケーション部長 松田 隼人
TEL. 03-5753-3130

【ものづくり関連展示会】兼松 KGK PRIVATE SHOW 2026 出展に関するお知らせ

パンチ工業株式会社（以下、当社）は、2026年6月3日（水）に山形県にて開催される展示会「兼松 KGK PRIVATE SHOW 2026」に出展いたします。本展示会では、グループ会社でファクトリーオートメーション（以下、FA）及びラボラトリーオートメーション（以下、LA）機器の設計・開発を手掛ける株式会社ASCe（アスク）で設計した「自動分注装置」や金属接合技術「P-B a s®」などをご紹介します。

当社の加工技術やソリューションは、企業公式YouTubeチャンネル内の動画でもご紹介しています。

公式YouTube チャンネル https://www.youtube.com/@punchindustry_official

記

1. 展示会概要

工作機械・産業機械・エネルギー関連及び周辺機器の販売を手掛ける株式会社 兼松 KGK が主催する、ものづくりに特化した展示会です。加工機やソフトウェア、自動化装置など現場の課題解決に役立つ製品を展示するほか、現場課題へのソリューションを提示するセミナーも開催されます。

展示会名：兼松 KGK PRIVATE SHOW 2026

会期：2026年6月3日（水） 9：30～16：30

会場：山形国際交流プラザ「山形ビッグウイング」第1、2集会展示場
〒990-0076 山形市平久保100番地

URL：<https://solution.kgk-j.co.jp/2606-kgk-pv>

展示内容：自動分注装置の紹介資料、P-B a s®で加工したサンプル、精密金属加工部品 他

2. パンチグループの自動分注装置の特長

分注とは、医療、理化学、製薬、ヘルスケア分野などで行われる、液体や粉末などの試料を必要な量だけ取り出して別の容器に移す作業で、自動分注装置はそれを自動で行うLA機器の一種です。医薬や製薬の実験現場では、HPLC（高速液体クロマトグラフ）や比色分析といった分析処理を行う際の前処理が実作業の6割を占めるとされており、大きな負担となっています。

当社グループは、ものづくりで培った技術力と設計・開発力で、お客様の用途に応じたオーダーメイドでの設計・製作を手掛けており、お客様の自動化・省力化に貢献します。

【当社グループの自動分注装置の特長】

- 複数種類の容器ふたの形状をカメラで自動判別
- 圧入タイプ、スクリュウタイプなど様々なふたに対応
- ピペットに合わせて水受けが移動しコンタミネーション（化学汚染）を防止
- バーコード読取や希釈といったモジュールをお客様に合わせて追加搭載可能

アスク製 自動分注装置の紹介動画 <https://www.youtube.com/watch?v=Yg2ryzDcUpA>

3. 金属接合技術P-B a s®について

P-B a s®は「Punch Bonding (接合) and sintering (焼結)」の略称で、金属を溶かさずに一体化する技術です。プラスチックの射出成形を行う際、成形する製品を効率よく冷却するために金型部品の内部に複雑な形状の水管を作成したい場合などに使用されます。一つの金型部品をパーツに分解して加工し、接合を行って仕上げを行うことで精密に加工することができます。

複雑形状の金属成形という分野では3Dプリンターによる金属粉末の積層による成形が競合しますが、加工できる特殊鋼の種類が幅広い点、水管の内部を加工面が綺麗な切削加工で仕上げられるため錆などが発生しにくい点、原材料に汎用的な特殊鋼が使用でき、材料コストが抑えられる点などに優位性があります。

また、金属の粉末を焼結し新たな素材をつくる取組みも行っており、これにより宇宙空間などの過酷な環境にも耐えられる、軽量で耐摩耗性、耐熱性に優れた合金の開発も進めています

パンチ工業 P-B a s®について <https://www.punch.co.jp/product/service/p-bas/>

4. 今後の予定

当社は、本展示会への出展を契機として、当社グループの自動化ソリューションやP-B a s®の一層の認知拡大を図るとともに、新規顧客の開拓および既存顧客との関係深化を推進してまいります。

今後も国内外の展示会・セミナー等への出展・参加を積極的に行い、市場ニーズの把握と製品・サービスの高度化を通じて、中期経営計画「バリュークリエーション 28」に掲げた収益性向上と事業領域拡大を推進し、持続的な企業価値向上に努めてまいります。

【パンチ工業株式会社 会社概要】

社名：パンチ工業株式会社

代表：代表取締役/社長執行役員 森久保 哲司

所在地：東京都品川区南大井6丁目22番7号 大森ベルポートE館5階

上場：東京証券取引所 スタンダード市場 (6165)

創業：1975年

売上高：421億円 (連結・2026年3月期)

従業員：3,480名 (連結・2026年3月末)

URL：<https://www.punch.co.jp/>

公式YouTubeチャンネル：https://www.youtube.com/@punchindustry_official

事業内容：金型部品、自動化装置及びその周辺部品、特注機械部品等の製造・販売

社名に込められた意味：

創業の製品であるプリント基板用穴あけパンチの「パンチ」と、活力にあふれた「パンチ」の効いた会社という意味が込められています。

会社ロゴマークに込められた意味：

ゲンコツマークは「商品である金型用パンチ/ピンと企業としての勢い」、斜線は「稲妻のごとく業界に新風を送らんとする」意気込みを表現しています。

